

「第4回マスタークラス」開催概要

- 1. 開催期間** 2018年
 8/8(水) 受講生受付(懇親会予定)
 8/9(木)～15(水) 各クラス レッスン(7日間) ※期間中に一般対象事業も開催予定
 8/16(木) 「受講生コンサート」
 8/17(金) 「講師によるスペシャルコンサート」
- 2. 開催場所** 島根県大田市大森町内の各施設
 ※現地までのアクセスは実行委員会ホームページ等をご参照ください。
- 3. 対象者** 音楽家を目指す学生、オーケストラ奏者、プロ奏者等の皆様
 「フルート」「クラリネット」「ホルン」各7名、「ピアノ」「ヴァイオリン」は若干名を募集予定
 (国籍、年齢、性別、プロ・アマ不問)
- 4. 講師**
- フルート** トーマ・プレヴオ Thomas Prevost, Flute
 フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団 首席フルート奏者/パリエコールノルマル音楽院 教授
- クラリネット** パトリック・メッシーナ Patrick Messina, Clarinet
 フランス国立管弦楽団 首席クラリネット奏者/ロンドン王立音楽院 客員教授/パリエコールノルマル音楽院 教授
- ホルン** ジャック・デルプランク Jacques Deleplancque, Horn
 フランス国立トゥールーズ・キャピトル管弦楽団 首席ホルン奏者/パリ国立高等音楽院 教授
- ピアノ/室内楽** ミロスラフ・セケラ Miroslav Sekera, Piano
 プラハの春音楽祭公式ピアニスト/プラハ芸術大学所属・ソリスト
- ヴァイオリン** 破魔 澄子 Sumiko Hama Prevost, Violin
ディレクター フランス国立管弦楽団 元第1ヴァイオリン奏者
- 5. 課題曲** 自由曲(ご希望の曲で受講ください)
 ※ソロ曲、アンサンブル曲、複数の課題も可。受講申込書に受講希望曲をご記入ください。
- 4. 受講料** 150,000円(消費税込み)
 ※開催期間中の宿泊(相部屋)と朝・昼食を含みます(夕食は各自でおとりください/自炊可)。
 ※現地までの往復交通手段は各自ご手配ください。現地での移動は徒歩が基本となります。
- 【お振込先口座】**
山陰合同銀行 大森代理店 (口座番号) 普通 No.3604254
(名 義) 石見銀山国際音楽アカデミー実行委員会
 ※お振り込み手数料は、振込者にてご負担ください
- 7. 宿泊先** 大森町内の古民家をご利用いただく予定です(自炊設備あり)
 ※受講生同士の相部屋、バス・トイレ等は共同利用となります。予めご了承ください。
- 8. 参加申込・お問合せ先** 石見銀山国際音楽アカデミー実行委員会
 メールアドレス info@iwamiginzan-ima.com
 ○東京事務局 Tel 03-5206-5501 Fax 03-5206-5502 (フューチャーデザイン内)
 ○本部事務局 島根県大田市大森町 ホームページ <http://iwamiginzan-ima.com>
- 9. 運営体制**
- 主 催** 石見銀山国際音楽アカデミー実行委員会
協 賛 中村ブレイス株式会社 株式会社三響フルート製作所 株式会社プリマ楽器
 株式会社ビュッフェ・クランボン・ジャパン
後 援 島根県(申請中) 島根県教育委員会(申請中) 大田市(申請中) 大田市教育委員会(申請中)
 ほか現在調査中
- 10. 関連事業(予定) 各地公演** 8/18(土) 講師によるスペシャルコンサート 島根県・松江市公演
 8/19(日) 講師によるワークショップ&スペシャルコンサート 岡山県・備前市
- 音楽講座** 8/8(水) 「子供のための音楽基礎講座」& 「大人のための音楽基礎講座」(大森町)
 (県民一般対象) 8/12(日) 「子供のための音楽基礎講座」& 「大人のための音楽基礎講座」(大田市)

「第4回マスタークラス」講師プロフィール

フルート

トーマ・プレヴォ Thomas Prévost, Flute フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団 首席フルート奏者/パリエコールノルマル音楽院 教授



10歳でジュネーヴ音楽院に入学、17歳でパリ国立高等音楽院(CNSM)に入学し、ジャン＝ピエール・ランパルに学ぶ。修士課程を修了後、ピエール・ブレーズが結成したアンサンブル・アンテヌ・コンテンポレンヌに首席フルーティストとして招かれるが、三週間後にフランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者に選ばれ後者を選択する。日本においては当時の文化庁長官の故河合隼雄氏と親交をもち日本の音楽教育環境への造詣も深い。ペーター・シュライヤー、リリーアスキン、エマニエル・アックス、ヨーヨー・マ、パメラ・フランクなどと共演、特にアルバート・ロトーとの共演は30年以上にわたり、ヨーロッパ、北米、アジアの各国に招かれている。フランス国立放送フィル元音楽監督ジョン・モンファンは「非常にスケールの大きな現代最高のフルート奏者の一人である。彼がこのオーケストラに在籍してくれることは楽団員にとって本当に幸運なことだ」と絶賛している。2017年、第10回石見銀山文化賞受賞。

クラリネット

パトリック・メッシーナ Patrick Messina, Clarinet フランス国立管弦楽団 首席クラリネット奏者/ロンドン王立音楽院 客員教授/パリエコールノルマル音楽院 教授



南仏ニース生まれ。父の手ほどきでクラリネットを始め、ニース音楽学校入学を経てパリ国立高等音楽院に入学。ギー・ドブリュス、ミッシェル・アリニオンに師事。18歳の若さでクラリネット科と室内楽科を首席で終了。ピュッフェ・クランボン国際コンクール(パリ)に史上最年少の14歳で優勝。1992年ユーディ・メニューイン財団賞受賞。94年、フランス外務省よりラヴォワジエ奨学金を授与されクリヴランド音楽院でフランクリン・コーエンのもとで学ぶ。96年、East & West Artists International Audition第1位。カーネギーホール内ヴェイル・リサイタルホールでニューヨークデビュー。96年から03年までニューヨーク・メトロポリタンオペラ座オーケストラでジェームス・レヴァイン、ヴァレリー・ゲルギエフ、レオナード・スラトキンらの指揮で演奏。03年クルト・マズアに招かれフランス国立管弦楽団の首席奏者に就任。アムステルダム・コンセルトヘボウ、シカゴ・シンフォニー等世界各地で有名指揮者と共演。東京では紀尾井シフォニエッタにも客演している。

ホルン

ジャック・デルプランク Jacques Deleplancque, Horn フランス国立トゥールーズ・キャピトル管弦楽団 首席ホルン奏者/パリ国立高等音楽院 教授



フランス、パドカレ出身。7歳よりポール・キャンティンの元で音楽を学び始める。パリ国立高等音楽院(CNSM)において輝かしい成績をのこし、ジョルジュ・バルボトウとクリスチャン・ラルデの指導のもとホルンおよび室内楽で満場一致の一等賞で卒業。18歳でジャン＝クロード・カザドシュ指揮リール国立管弦楽団やクラウディオ・アバドが指揮者を務めたECユース管弦楽団(現EUユース管弦楽団)にソリストとして招かれる。ピエール・ブレーズの招請でアンサンブル・アンテルコンタンポランに12年間在籍、ホルンの可能性を追求するレパートリーの演奏に貢献。ソリストとして世界中の主要都市での演奏、各地の批評家たちから多くの称賛を得ている。これまでにチェリビダッケ、ヨッフム、マーゼル、バーンスタイン、ムーティ、小澤征爾といった巨匠指揮者たち、近年はフランス国立トゥールーズ・キャピトル管弦楽団にてM.ブラッソン、J.スウェンセン、J.V.ズヴェーデン、T.ソヒエフといった指揮者たちと共演している。若手音楽家の指導にも力を注いでいる。パリ木管五重奏団メンバー。使用楽器はエンゲルベルト・シュミット。

ピアノ/室内楽

ミロスラフ・セケラ [Miroslav Sekera, Piano ブラハの春]音楽祭公式ピアニスト/ブラハ芸術大学所属・ソリスト



3歳より音楽教育を受け12歳までにピアノとヴァイオリンの基礎教育課程を終える。映画「アマデウス」に、ローマ法王の前でヴァイオリンとピアノを演奏する少年時代のモーツァルト役で出演。ブラハ・ヴォルシルスカー音楽学校卒業後、ブラハ音楽院を経てブラハ芸術アカデミーを首席で卒業。マリアンスケー・ラーズニエのショパンコンクール、ブラハ芸術大学コンクール、ブラームス国際コンクールなど数多くの国際コンクールで優勝。チェコ音楽基金の支援によりブラームス、スカルラツァディ、モシュコフスキーの作品を取めたソロCDをリリース。ウィーン楽友協会ホール、ワシントンのケネディセンターなど世界各地でソリストまた室内奏者として活躍。ブラハ交響楽団、ブラハフィルハーモニー等からもソリストとして頻りに招かれ、チェコ放送局などのメディアへの出演でも人気を得ている。

ヴァイオリン 石見銀山国際音楽アカデミー実行委員会・代表 (アカデミー エグゼクティブディレクター)

破魔 澄子 Sumiko Hama Prévost, Violin フランス国立管弦楽団 元第1ヴァイオリン奏者



5歳からヴァイオリンをはじめ。桐朋学園高校音楽科を卒業後、米国ミネソタ大学にて後にフィラデルフィア交響楽団コンサートマスターに就任するノーマン・キャロル氏に師事。翌年ジュリアード音楽院から全額給費を受け入学、ジョセフ・フックスに師事する。また、室内楽をアーサー・バルサム、リアン・フックス等に学ぶ。JDロックフェラー財団奨学金も授与される。卒業後フランスに渡り、ジョセフ・カルベに師事。1976年、フランス国立管弦楽団に初の外国人として入団。パリ日本文化会館こけら落とし公演では安永徹、深井博文、店村真積、堤剛、嶺田健との六重奏で話題となる。スウェーデン、ポーランド、北米、台湾、日本などにリサイタルや室内楽で招かれている。2017年、第10回石見銀山文化賞受賞。